

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-516459(P2000-516459A)

【公表日】平成12年12月12日(2000.12.12)

【出願番号】特願平10-508844

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 39/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 35/00

C 1 2 N 7/00

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 35/00

C 1 2 N 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月25日(2004.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年6月25日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示 平成10年特許願第508844号

2. 補正をする者

名 称 サリオン・バイオロジクス・コーポレイション

3. 代 理 人 東京都新宿区新宿1丁目1番11号 友泉新宿御苑ビル
(郵便番号 160-0022) 電話 (03)3354-8623
(6200) 弁理士 川 口 義 雄

4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正により増加する請求項の数 なし

6. 補正対象書類名 請求の範囲

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する。

支 手



[別 紙]

請求の範囲

1. 腫瘍関連抗原 (TAA) をコードする第一のポックスウイルスベクター系および第一のポックスウイルスベクター系と同じ TAA をコードする第二のポックスウイルスベクター系を含む、 TAA を発現している腫瘍を有する宿主内における免疫反応を増強する製品であって、該第二のベクターを逐次的に投与し、第二のポックスウイルスベクター系は第一のポックスウイルスベクター系とは異なったポックスウイルス属由来であり、前記腫瘍関連抗原が癌胎児性抗原、前立腺特異的抗原 (PSA) 、mucin(MUC-1)、黒色腫関連抗原 (MART-1) から成る群より選択されることを特徴とする前記製品。
2. 第一のベクターが更に B7 をコードする遺伝子を含む請求項 1 に記載の製品。
3. 第一の組換えポックスウイルスベクター系が、オルトポックスウイルスベクター、アビポックスウイルスベクター、スイポックスウイルスベクター、およびカプリポックスウイルスベクターから成る群より選択されるポックスウイルスベクターを含む請求項 1 に記載の製品。
4. 第二の組換えポックスウイルスベクター系が、オルトポックスウイルスベクター、アビポックスウイルスベクター、スイポックスウイルスベクター、およびカプリポックスウイルスベクターから成る群より選択されるポックスウイルスベクターを含む請求項 1 に記載の製品。
5. 第一のポックスウイルスベクター系がオルトポックスウイルス由来であり、第二のポックスウイルス系がアビポックスウイルス由来である請求項 1 に記載の製品。
6. 第一のポックスウイルスベクター系がアビポックスウイルス由来であり、第二のポックスウイルス系がオルトポックスウイルス由来である請求項 1 に記載の製品。
7. オルトポックスがワクシニアであり、アビポックスが鶏痘である請求項 3、4 または 5 に記載の製品。
8. オルトポックスがワクシニアである請求項 3、4 または 5 に記載の製品。

9. 第一のポックスペクター系が2つのポックスウイルスペクター、B7をコードする1つのベクターおよびTAAをコードする第二のベクターを含む請求項1に記載の製品。

10. 第二のポックスペクター系が更にB7をコードするDNAを含む請求項1に記載の製品。

11. 第二のポックスペクター系が2つのポックスペクター、B7をコードする1つのベクターおよびTAAをコードする第二のベクターを含む請求項1に記載の製品。

12. 前記B7がB7.1である請求項2、9、10または11に記載の製品。

13. 前記B7がB7.2である請求項2、9、10または11に記載の製品。

14. 前記ワクシニアがワクシニアの標準的なワクチン種に比較してビルレンスが減弱化されている請求項7または8に記載の製品。